



2019年2月6日

各位

会社名 鳥居薬品株式会社
代表者名 代表取締役社長 高木 正一郎
(コード番号 4551 東証第一部)
問合せ先 経営企画部 (TEL 03-3231-6814)

特別損失（事業構造改革費用）の計上及び2018年12月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2018年12月期において、特別損失（事業構造改革費用）を計上することといたしましたので、お知らせします。併せて2018年10月31日に公表いたしました2018年12月期の通期業績予想と本日公表の2018年12月期の決算実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 特別損失（事業構造改革費用）の計上について

本日公表しました『「中期経営計画2021」の策定のお知らせ』において掲げております事業構造改革施策の一環として、薬価制度の抜本改革の影響等により長期収載品の収益性が低下している状況を踏まえ、当社で製造している医薬品については、段階的に他社への承継あるいは外部委託製造への切り替え等を行うことにより収益性の改善を図ることとし、また、当社の研究開発機能について、親会社である日本たばこ産業株式会社に統合することとしております。

これを受け、当該機能を有する当社佐倉工場及び研究所の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2018年12月期に減損損失2,021百万円を事業構造改革費用として特別損失に計上することとしました。

2. 2018年12月期通期業績予想と決算実績との差異

(1) 2018年12月期通期業績予想数値と決算実績数値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 62,000	百万円 4,100	百万円 4,200	百万円 3,000	円 銭 100.41
今回実績 (B)	62,551	4,951	5,080	1,164	41.51
増減額 (B - A)	+551	+851	+880	△1,835	
増減率 (%)	+0.9	+20.8	+21.0	△61.2	
(ご参考) 前期 (2017年12月期)	64,135	6,281	6,403	4,718	168.22

(2) 差異が生じた理由

売上高は、「レミッチ（透析患者における経口そう痒症改善剤）」の販売について後発品の影響が想定を下回ったこと、「シダトレン スギ花粉舌下液（アレルギー免疫療法薬）」及び「ミティキュア ダニ舌下錠（アレルギー免疫療法薬）」の販売が好調に推移したこと等から前回発表予想を上回る結果となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、営業費及び管理費について経費の節減に取り組んだこと、研究開発費の一部が翌期へずれ込んだこと等により、営業利益、経常利益ともに前回発表予想を上回る結果となりました。当期純利益につきましては、上記のとおり、特別損失の計上のほか、今後の業績見通し等を勘案して繰延税金資産の一部を取崩したことにより前回発表予想を下回る結果となりました。

以上